

お わ り に

理事 我孫子研究所長 加藤 正進



地球環境問題を解決するためには、国際的な合意のもとに原因物質の排出削減を実行する必要がある。地球温暖化問題では、気候変動枠組条約に185か国が調印し、温室効果ガス濃度の安定化を目指してこれまでに6回の締結国会議が開催されてきた。酸性雨問題においても、欧米では本編で紹介したように、長い時間をかけた科学論争と幾多の国際交渉を経て、二酸化硫黄の排出削減が実行に移された。しかし、東アジア地域ではモニタリングネットワークが活動を開始したばかりであり、対策に動きだすにはまだ時間を必要とするとみられる。

当研究所は、正確な科学的知見を提供するという形で、排出削減に向けた国際世論の形成に貢献したいと考えている。この電中研レビューが幾分なりともそのお役に立てば幸いである。研究を行うにあたり、ご指導とご協力を賜った官公庁、大学、研究機関、電力会社の関係各位に心よりお礼申し上げます。

今後は、酸性物質を含めた広範な化学物質を対象として、大気中での輸送現象や陸域での動態解明、リスク評価に取り組む所存である。ここに関係各位のますますのご指導とご鞭撻をお願いする次第である。